有馬温泉

川辺で和風ビアガーデン

有馬温泉に夏がやってくるー。阪神・淡路大震災の後、復興のために始まった夏の風物詩「有馬涼風川座敷」が、２年前の有馬川親水広場のリニューアルに伴い、「有馬涼風ビアガーデン」と名前を変えて今年も開かれる。

７月22日～８月21日の期間中は毎夜、有馬芸妓の踊り、音楽演奏やパフォーマンスステージを鑑賞しながら、名物「すき焼き」、キッチン屋台グルメを堪能できる。芸妓さんと一緒に写真撮影できるチャンスもあるかも。子どもたちの大好きな縁日ゲームコーナーの射的は、大人たちも夢中になってしまいそう。

有馬芸妓たちのあでやかな踊り

安心して楽しめるよう、入場者数を制限するなど、感染予防対策を徹底する。入場無料。すき焼きは要予約。有馬川の涼しい風に心を癒やされながら、夏の夜のひと時を楽しんでみては？

有馬温泉観光総合案内所☎078・904・0708

神戸市立森林植物園

アジサイ５万株、鮮やか

市街地から程近い六甲山地の一角に、142.6㌶の広さを誇る神戸市立森林植物園では、自然を最大限に活用し、生きた植物本来の姿を樹林として観察できる。

とりわけアジサイにかけては「六甲山の幻の花」といわれるシチダンカをはじめ、25種350品種・約５万株が見られる国内有数の名所。六甲ブルーに輝くヒメアジサイや、白一面に咲き誇るアナベルは植物園随一のフォトスポットだ。

園内のあじさい坂に咲くヒメアジサイ

青葉トンネルのライトアップも４月にリニューアル。初夏はアジサイ色、夏はクールな青色、秋は移ろいゆく山の紅葉色、冬は眠る山の色など、年間を通して楽しむことができる。「mori no iro 森林の四季彩」と名付けた光の演出を、ぜひトンネルの中で体感しよう。

６月11日～７月18日は無休。土日・祝日は午前８時～午後６時まで開園している（平日は午前９時～午後５時。最終入園は閉園の30分前）。同園☎078・591・0253

６５３カフェ

広大な庭、「特別席」見つけて

六甲ケーブル「六甲山上駅」を降りたら、すぐ目の前にある「６５３カフェ」。芝生や森でピクニックをしたり、パソコンでワーケーションしたり、音楽を楽しめる野外ステージになったり。広大な庭の使い方は多彩で自由だ。

クッキーとパイ、ドリンクの付いた「ピクニックセット」は、おなかも心も大満足。「たっぷりいちごのパフェ」など、季節ごとのデザートも外せない。

家族や仲間と心地よい時間を過ごすのはもちろん、テラス席やソファ席を飛び出して、庭の中に自分だけの「特別席」を見つけるのも楽しい。

広々とした庭が広がる653カフェ

山の天候により営業日や営業時間が変更になるので、ウェブサイトや電話で確認を。土日・祝日は前日まで予約を受け付け、平日は当日でも席を予約できる。同店☎078・891・0218

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第４火曜日に掲載します）

根岸真理が案内　山の四季便り

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

ヤマボウシ まるで雪景色

摩耶山天上寺は、日本で唯一、お釈迦さまの生母・摩耶夫人を祭る寺。摩耶山の山名はこのことに由来しており、古来女性からの信仰が篤い。良縁祈願や安産腹帯の寺としても知られ、若い女性や赤ちゃんを連れたご家族の姿もよく見かける。ちなみに、筆者も母がこの寺で腹帯を授けていただいたおかげで無事に生を受け、還暦を迎えた今も元気である。

「花の寺」としても名高く、四季折々にさまざまな花が境内を彩るが、そろそろ見ごろを迎えるのがヤマボウシ。周辺の山中にも、多くのヤマボウシの木が点在しており、花の時期になると「こんなにもたくさん生えていたのか」と気づかされる。

そんな中、ひときわ存在感があるのが、天上寺の境内裏手に佇む高さ約12㍍、推定樹齢160年の巨樹。2014年に神戸市の「市民の木」に指定され、毎年花の時期を楽しみに訪れる人も多い。例年6月上旬に見ごろを迎えるが、今年はやや早めに咲き始めている。満開頃には、雪が降り積もったように樹冠が真っ白に染まり、まるで雪景色を見るような独特の景観が楽しめる。

ヤマボウシはミズキ科の落葉高木で、花びらのように見える白い手裏剣型の部分は「総苞片」という葉が変化したもの。中心部にある薄緑の球状の部分が本当の花で、「頭状花序」という小さな花が密集したもの。白い頭巾をかぶった僧兵の姿に似ていることから「山法師」の名が付けられたのだとか。

天上寺ではヤマボウシに続いて、6月中旬から7月頃にかけてナツツバキの花も咲く。朝に開花し、夕方には散ってしまう儚い一日花。仏教の三大聖樹の一つである沙羅樹になぞらえて「沙羅の花」と呼ばれている。清楚な純白の花には独特の気品が感じられ、石畳に散り敷いた姿もまた風情がある。

周辺では、コガクウツギやコアジサイなどアジサイの仲間も咲き始めている。梅雨時から夏にかけてはヤマアジサイや西洋アジサイも咲き競い、摩耶山全体がアジサイの名所となる。

天上寺は「関西花の寺二十五カ所」の寺。10人以上から予約可能な「花説法」と呼ばれる法話を聴くこともできる。拝観時間は午前9時～午後5時。摩耶山天上寺☎078・861・2684

まるで雪景色。大きなヤマボウシの花盛りは壮観だ＝いずれも神戸市灘区、摩耶山天上寺

白い花のように見える総苞片

約12㍍のヤマボウシには「市民の木」の看板が

摩耶山・天上寺　ナツツバキやアジサイも

摩耶山はアジサイの名所（昨年６月中旬の様子）

「沙羅の花」として親しまれるナツツバキ

健康学部

◆サイクリストのご褒美ランチ　六甲山サイレンスリゾート「空のダイニング」（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「記念碑台」で下車し徒歩約５分）。六甲山を登るサイクリストたちの体と心を癒す栄養補給ランチ＝**写真**＝が新しく登場する。新メニューは、ミネラル成分が豊かに含まれるカーボン（竹炭）を使用した「竹炭ご飯のキーマカレー」など３種類。自転車を保管できる場所もあり、神戸港を眺めながらゆっくりランチタイムを過ごすことができる。原則月曜定休。六甲山サイレンスリゾート☎078・891・0650

総合学部

◆６月のミントサロン「山の上の郵便屋さん」　６月29日19～20時、ミント神戸18階のミントテラス（ＪＲ「三ノ宮」駅）。多くの登山客や観光客が利用する六甲山郵便局。山上にある郵便局ならではの仕事について、前六甲山郵便局局長の田渕利一さん＝**写真**＝が話す。無料。先着25人。住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記し、メール（mintsalon@kobe-np.co.jp）またはファクス（078・360・5514）で申し込む。六甲山大学事務局ミントサロン係☎078・362・2983

環境学部

◆伝説の山と神出の里を歩く　６月11日９時半、神戸電鉄「緑が丘」駅集合。風景や自然観察を楽しみながら、古くから信仰の対象とされる雄岡山と雌岡山を目指して歩く。弁当、飲み物など持参。参加費300円（保険料含む）。予約不要。荒天中止。六甲山自然案内人の会・上条さん☎080・5363・2620（19～21時）

芸術学部

◆特集タイム　大正浪漫と蓄音器　７月15日まで、11時35分、14時35分（各回10分程度）、ＲＯＫＫＯ森の音ミュージアム（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「ミュージアム前」）。和洋折衷で独特な文化が生まれた大正時代。大正浪漫の雰囲気を伝える楽曲を蓄音器で紹介する＝**写真**。曲目は成田為三「浜辺の歌」、多忠亮「宵待草」など。無料（別途入場料中学生以上1300円、４歳～小学生600円）。予約不要。原則木曜休み。同ミュージアム☎078・891・1284

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
ひとのときを、想う。JT
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA
順不同
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局　神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp